

2 研究の実際

(4) P D C A サイクル考えを取り入れた合理的配慮のプロセスの実際

ア 小学校知的障害特別支援学級(5年)の取組

知的障害特別支援学級に在籍する小学校5年生の児童に対して、特別支援学級担任が生活面や学習面など教育活動全体を通して合理的配慮を提供した事例である。

対象児童は、興味のある学習には教師や友達と一緒に意欲的に取り組んでいる。しかし、自分の思いや考えを適切に表現できないため、友達と上手く関われない様子が見られる。また、注意の持続や切り替えが難しいため、活動を最後まで継続することができないときがある。さらに、手先の不器用さがあるため、着替えや道具を使った作業等で時間が掛かることや、洗顔や排泄等の身辺処理等に関する習慣化や知識及び技能に課題がある。

そこで、自分の思いや考えを伝えたり、対象児童が実生活に生かせるような基礎的・基本的な知識や技能を身に付けたりすることができるように配慮をした。

P(調整・決定)

1 意思の表明

本人	・ 友達や先生と楽しく過ごしたい。
保護者	・ 交流学級で過ごす時間を増やしてほしい。 ・ 着替えや排泄等が一人でできるようになってほしい。
引継ぎ等	・ 1年生から知的障害特別支援学級に在籍している。 ・ 生活単元学習や日常生活の指導等、各教科等を合わせた指導を中心とした学習に取り組んでいる。 ・ 活動内容が本人にとって難しいと、最後まで活動に取り組むことができないときがあった。 ・ 交流学級での学習では、特別支援学級担任や生活支援員を配置していた。 ・ 生活能力の向上や、小集団における社会性の育成を図るために、放課後等デイサービスを利用している。

2 調 整

実態把握

学習面	・ 平仮名の読み書きはできる。2年生までの漢字はおおむね読むことができる。 ・ 体験したことなどについて、2、3語文で表現することができる。 ・ 不器用さがあるため、字形を整えることやリコーダーを演奏すること等、手先を使う活動が苦手である。 ・ 歌を歌ったり、体を動かしたりする活動では、交流学級の友達と一緒に取り組むことができる。 ・ 注意の持続や切り替えが難しいため、最後まで学習に取り組むことができないときがある。
-----	--

生活面	・排泄のサインの表出が難しい。 ・衣服の着脱の際、ボタンやフックをはめたり外したりすることに時間が掛かる。 ・疲れたり意欲が低下したりすると、その場に座り込み活動に参加できないことがある。 ・休み時間から次の学習場面への切り替えが難しいことがある。 ・係活動や当番活動等の役割に、教師と一緒に取り組むことができる。
人との関わり	・友達と一緒に活動することが好きである。 ・その場に合った、適切な言葉や行動を取ることが難しいときがある。
その他 (生育歴・ 検査等)	・ダウン症候群の診断を受けている。 ・療育手帳を取得している。 ・WISC-Ⅲでは、非常に低い域にある。

検 討

【時 期】 4 月下旬

【参加者】 特別支援学級担任、交流学級担任、特別支援教育コーディネーター、教頭

【内 容】 個別の教育支援計画及び個別の指導計画や 4 月の対象児童の様子等を基に、対象児童や保護者の願いに寄り添いながら合理的配慮について検討した。

対象児童は、興味のある学習には教師や友達と一緒に意欲的に取り組んでいる。しかし、自分の思いや考えを適切に表現できなかつたり、注意の持続や切り替えができなかつたりするため、主体的に活動に取り組むことが難しいときがある。また、手先の不器用さがあるため、着替えや道具を使った活動等で支援が必要な場面がある。さらに、着替えや排泄等の身辺処理では一部支援が必要である。そこで、以下のような配慮を考えた。

- ①自分の思いや考えを表現することができるような学習場面を設定する。
- ②着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。
- ③手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。
- ④交流及び共同学習や学校行事等において、対象児童が主体的に活動できるように、教職員、保護者への共通理解を図る。
- ⑤特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設置する。

【準備した資料】

- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画
- ・合理的配慮検討シート
- ・合理的配慮シート

合意形成

【時 期】 5 月上旬

【参加者】 保護者、特別支援学級担任、交流学級担任

【内 容】 検討した①～⑤の配慮について保護者の同意を得、これらの合理的配慮を提供した。6 月下旬に評価し見直しをする。また、後任の特別支援学級担任への引継ぎを行う。

3 決 定

長期目標

- ・自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。
- ・実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。

① 教育内容・教育方法 ・自分の思いや考えを表現することができるような学習場面を設定する。 ・着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。 ・手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。	② 支援体制 ・交流及び共同学習や学校行事等において、対象児童が主体的に活動できるように、教職員、保護者への共通理解を図る。	③ 施設・設備 ・特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設置する。
--	---	--

※決定した内容は、個別の教育支援計画及び個別の指導計画、合理的配慮シートに明記します。

* <合理的配慮：3 観点11項目>

* 該当する項目に○を付けて下さい。

①-1 教育内容

- () 学習上又は生活上の困難を改善・克服
() 学習内容の変更・調整

①-2 教育方法

- () 情報・コミュニケーション及び教材の配慮
() 学習機会や体験の確保
() 心理面・健康面の配慮

② 支援体制

- () 専門性のある指導体制の整備
() 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解・啓発
() 災害時等の支援体制の整備

③ 施設・設備

- () 校内環境のバリアフリー化
() 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備
() 災害時等への対応に必要な施設・設備

次回の検討予定日（6月）

D(提供)-1**長期目標**

- ・自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。
- ・実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。

決定した合理的配慮

- ・自分の思いや考えを表現することができるような学習場面を設定する。
- ・着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。
- ・手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。
- ・交流及び共同学習や学校行事等において、対象児童が主体的に活動できるように、教職員、保護者への共通理解を図る。
- ・特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設置する。

実際の指導場面における合理的配慮の提供について**①教育内容・方法**

場面	対象児童の目標	内容 ()は主な支援者
学習面	・自分の思いや考えを表現することができる。	・生活単元学習や国語科等で、体験したことや思ったことを振り返ったり表現したりする学習場面を設定する。 (特別支援学級担任) ・学習に対する興味・関心を高めるため、I C T機器を活用する。 (特別支援学級担任、交流学級担任)
	・着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。	・手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。 (特別支援学級担任) ・手先の不器用さを補う教具を用意したり、教師が補助したりする。 (特別支援学級担任、交流学級担任) ・日常生活として、着替えや洗顔、排泄の仕方等を学ぶ場を設定する。 (特別支援学級担任)
生活面	・見通しをもって活動に取り組む。	・1日の活動の流れを示したスケジュール表を用意する。 (特別支援学級担任) ・朝の会で、チャイムが鳴ったときに席に着くというルールを確認する。 (特別支援学級担任、交流学級担任) ・帰りの会で活動を振り返る場を設定する。 (特別支援学級担任) ・疲れたとき等は、休憩してもよいことを適宜伝える。 (特別支援学級担任、交流学級担任)

行事等	・学年や交流学級の友達と一緒に活動する。	・見通しをもって参加できるように、事前に活動内容や流れを伝える場を設定する。 (特別支援学級担任) ・興味のある活動を取り入れたり、役割をもたせたりして、主体的に活動できる場を設定する。 (特別支援学級担任、交流学級担任) ・行事等への参加の意欲を高めるために、活動後に振り返りの場を設定する。 (特別支援学級担任)
-----	--	--

②支援体制

項目	時期	内容
職員会議	4月上旬	・前年度からの引継ぎ事項や今年度の支援体制の共通理解を図る。
	月1回	・対象児童の学習や生活の様子を伝え、行事等での支援体制の共通理解を図る。
職員研修	夏季休業中	・校外から講師を招き、インクルーシブ教育システム構築をテーマとした研修を行う。
児童支援会議	隔月	・配慮を要する児童の学習や生活の様子を確認し、対応について全教職員で検討し、共通理解を図る。
交流学級児童への理解啓発	適宜	・授業や行事での関わり方等、対象児童の理解啓発を図る。 (特別支援学級担任、交流学級担任)
外部関係機関との連携	随時	・放課後等デイサービスの担当者と、対象児童の様子について送迎時に情報交換する。 (特別支援学級担任)
	夏季休業中	・放課後デイサービスの施設を見学し、施設における1学期及び夏期休業中の対象児童の情報交換をし、今後の支援の在り方についての共通理解を図る。 (特別支援学級担任)
	適宜	・特別支援学校のセンター的役割を利用し、対象児童の指導や支援の方法について検討する。 (特別支援学級担任、保護者)

③施設設備

項目	時期	内容
休憩・着替えの場所の設置	4月	・特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設置する。

D(提供)-2**合理的配慮の実例****1 合理的配慮の提供場面**

生活単元学習「宿泊自然教室の新聞を作ろう」

2 本時の目標

○宿泊自然教室で体験したことを、写真を見て振り返ったり、伝えたいことを思い浮かべて表現したりすることができる。

3 合理的配慮を取り入れた本時の授業について

対象児童は、小学校1年生から知的障害特別支援学級に在籍しており、各教科等を合わせた指導を中心とした学習に取り組んでいる。平仮名の読み書きや挨拶等、繰り返し学習して得た知識や技能は身に付いており、自分でできることが増えてきた。少しずつ語彙が増えて、自分の思いや考えを2、3語文で表現することができるようになった。しかし、「いつ」「どこで」「誰と」等、相手に分かりやすく表現することは難しい。また、手先の不器用さがあるため字形が整いにくい。さらに、見通しがはっきりしていない学習では意欲が低くなることもある。

本時の授業では、宿泊自然教室の振り返りをするために新聞作りに取り組む。対象児童は、宿泊自然教室での活動を通して、自然に親しんだり、食事や寝起き等の基本的な生活習慣について実際に学んだりすることができた。また、集団生活の中で自分の役割を果たしたり、友達と協力し合ったりするなどの体験をすることもできた。そこで、宿泊自然教室を通して学んだことを振り返り、感じたことを表現することで、学んだことを今後の学校生活や家庭で生かそうとする態度を養うことをねらいとし、本時の授業を設定した。

指導に当たっては、授業の前に、新聞作りの見通しをもつことができるように、模造紙に新聞記事の割付を示しておいた。また、自分が伝えたい写真が選びやすくなるように活動ごとに写真を2、3枚用意したり、活動内容や気持ちを表現しやすくなるように吹き出しの紙を準備したりした。さらに、字形が整いやすくなるように、吹き出しにはマス目を入れた。授業では、電子黒板を使用し、時系列に写真を見せながら体験したことを振り返ることができるようにした。写真を選んだら、そのときの活動の内容や出来事、会話等を思い出せるような質問をし、児童から思いや考えを引き出すようにした。その後、児童の発した言葉を基に記事にする文章を一緒に考えるようにした。

4 対象生徒へ提供する主な合理的配慮

提供する合理的配慮	() は主な支援者
・新聞作りの見通しをもつことができるように、模造紙にあらかじめ新聞記事の割付を示しておく。	(特別支援学級担任)
・宿泊自然教室の体験が振り返りやすくなるように、ICT機器を活用する。	(特別支援学級担任)
・活動内容や気持ちを表現しやすくなるために、吹き出しの紙を準備する。	(特別支援学級担任)

5 授業の実際

(◎合理的配慮)

担任の所感

対象生徒

学習活動	教師の働き掛け	取組の様子
【授業前】	◎新聞作りの見通しをもつことができるように、模造紙に新聞記事の割付を示しておいた。 ・宿泊自然教室で体験の様子を写真に撮っておき、その中から写真を選ぶことができるように、活動ごとに2、3枚写真を準備した。 ◎活動内容や気持ちを書き表しやすいように、吹き出しの紙を準備した。	日付や見出しの位置や活動ごとに時系列で区切りを入れました。
1 宿泊自然教室での活動内容を思い出す。	◎宿泊自然教室での活動を思い出しやすいように、電子黒板で画像を提示した。 	時系列で写真を提示すると活動内容をすぐに思い出すことができました。 写真を見るとどんな活動をしたか思い出せたよ。つながきが楽しかったな。
2 本時のめあてを知る。	めあて 宿泊自然教室の新聞を作って、体験を振り返ろう。	
3 新聞を作る。 (1)新聞に使う写真を活動ごとに選ぶ。	◎新聞に使いたい写真を、活動ごとに2、3枚の写真の中から選ばせた。  ・作業しやすいように紙を適切な大きさにしたり、はさみで切る部分を示したりした。 	写真を自分で選ぶことができたよ。 提示する写真を2、3枚にすることで、自分で選ぶことができました。 写真を持ちやすい大きさに切っておきました。 切る部分を太い線で示しました。 切るところが分かって、切りやすかったよ。

(2)活動を振り返る。	- 活動の内容（「いつ」「どこで」「誰と」「どんな活動」「どんな気持ち」）を思い出しやすいような質問をした。  - 文章に表現することができるように、児童の発した言葉を用いて吹き出しに書く内容を考えさせた。	選んだ写真について、1枚ずつ活動の内容やその時の気持ちについて質問をしました。 この写真は、班の出し物で劇をしているところだよ。恥ずかしかったけど、楽しかったよ。
(3)吹き出しに、活動内容や気持ちを書く。 ※ (1) (2) (3) を繰り返して新聞を完成する。	◎吹き出しに書く内容を書き出し、それを手本として写させた。 	児童が写真を見て言った言葉を用いて、一緒に文を考えました。 活動したことや自分の気持ちを吹き出しに書けたよ。
4 今日の学習を振り返る。 5 次の学習内容を知る。	- 写真を選んで、その時の活動内容や気持ちを文章にしたことで、宿泊自然教室の振り返りができたことを称賛した。 - 次の時間は、新聞作りの続きをし、完成を目指すことを知らせた。 	次の時間に続きをするのが、楽しみだな。 まだ、貼っていない部分を示して、次回は続きをすることを伝えました。

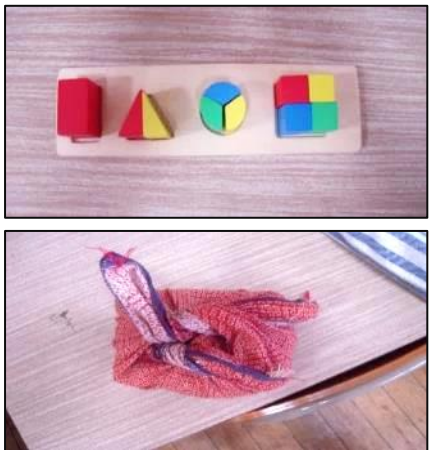
D(提供)-3

合理的配慮の具体例

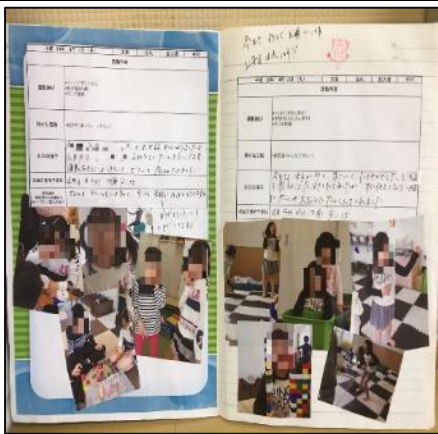
場 面	学習面	交流及び共同学習における場の設定
合理的配慮の内容 ・ 交流学級の友達と一緒に活動する時間を設定する。 ・ 対象児童が友達とコミュニケーションをとりやすいようなグループ編成にする。		
 【完成した紙芝居】  【交流学級の友達と紙芝居の発表をする対象児童】		対象児童は、音楽科や家庭科等を交流学級で学んでいるが、授業中に発表したり交流学級の児童に自ら話し掛けたりする等、積極的に活動したり友達と関わったりすることが少なかった。 そこで、交流及び共同学習における学習内容や方法等に配慮した。総合的な学習の時間に行った紙芝居作りと下級生に向けての発表では、交流学級の友達と一緒に活動する場を設定した。グループは、直前に行われた学校行事と同じ構成にすることで、対象児童にとって話しやすいように編成した。また、対象児童が意欲をもって取り組むことができる役割を、グループで話し合って決定するようにした。さらに、紙芝居の発表に対象児童が自信をもって参加できるように、特別支援学級で個別に練習した後に、交流学級の練習に参加するようにした。 その結果、対象児童は、紙芝居の色塗り等の役割に最後まで取り組むことができた。また、何度も発表の練習を繰り返したことで、自信をもって下級生の前で発表することができた。

場 面	学習面	排泄についての指導
合理的配慮の内容 ・ 排泄に関する生活習慣の形成に向けて、家庭と連携を図ったり特別支援学校のセンター的役割を利用したりする。		
 【定時排泄のスケジュール】		対象児童は、排泄のリズムが整っていない。 そこで、連絡帳を使い、特別支援学級担任が保護者と、対象児童の家庭における排泄の回数や様子等の情報を共有し、学校での排泄に関する支援に生かすようにした。また、特別支援学校の巡回指導を受け、定時排泄の仕方や時間設定について共通理解をし、対象児童のスケジュールにトイレのマークを入れることにした。 その結果、定時に排泄できるようになってきた。今後も定時に排泄をする練習を続けていく予定である。

場 面	学習面	宿泊自然教室に向けての事前指導
合理的配慮の内容 ・ 洗髪や洗顔等についての手順書を準備する。 ・ 学校と家庭での練習方法の統一を図る。		
 【洗髪と洗顔の手順書】		対象児童は、洗髪や洗顔等を一人で行うことが難しく、日常生活では家族の支援を必要としていた。宿泊自然教室では、洗髪や洗顔をする機会があるため、対象児童が洗髪や洗顔等の手順を理解し、一人で行うことができるようにしたいと考えた。 そこで、特別支援学級担任が保護者と話し合いながら、本人にとって分かりやすい洗髪と洗顔の仕方についての手順書を準備した。学校では、特別支援学級担任が対象児童に、手順と「横を 10 回ゴシゴシします」等、洗う箇所や回数を示した。その後、保護者に手順書を渡し、毎日入浴時と起床時に練習するようにした。 その結果、宿泊自然教室までに洗髪や洗顔の順番を理解し、自分で洗おうとする態度を身に付けることができた。しかし、宿泊自然教室での実際の入浴場面では、まだ一部支援が必要であったため、6 年生での修学旅行に向けて、一人で入浴できるよう現在も練習を重ねている。

場 面	学習面	手指の巧緻性の向上
合理的配慮の内容 ・ 手指の巧緻性を高める教材教具を取り入れる。		
 【手指の巧緻性を高める教材】		対象児童は手先の不器用さがあるため、字形が整わなかったり、リコーダーを演奏することが難しかったりすることがあった。また、衣服の着脱に長い時間を要するため、着替えの途中で疲れてしまい、着替えを中断することがあった。 そこで、手指の巧緻性を高める活動を 1 日 2 回、10 分程度取り入れることにした。小さなパーツを枠にはめ込むワークや風呂敷包み、ネジ回し等、対象児童が意欲的に活動に取り組めるよう、様々な種類の課題を準備した。 その結果、細かい指先の動きが少しずつ円滑になってきた。着替え等では、まだ時折支援を求めることもあるが、中断することが少なくなってきた。

場 面	生活面	学校生活への見通しのもたせ方
合理的配慮の内容 ・ 特別支援学級内に 1 日のスケジュールを提示する。		
		対象児童は、生活や活動に見通しがもてないと不安を感じ、活動に取り掛かることができないときがあった。 そこで、前日に特別支援学級担任が、翌日のスケジュールカードを確認ボードに貼るようにした。そして、対象児童が登校した後に、その日の活動内容を特別支援学級担任と一緒に確認できるようにした。また、休み時間ごとに次時の活動内容を確認するようにした。 その結果、学校生活に見通しをもつことができ、安心して過ごすことができるようになった。また、次第に自分で確認ボードを見て、1 日の流れを確認する様子が見られるようになってきた。
【1 日のスケジュールを提示した確認ボード】		

場 面	生活面	放課後等デイサービスや保護者との連携
合理的配慮の内容 ・ 放課後等デイサービスや家庭での様子を把握するために、連絡ノートを活用する。 ・ 放課後等デイサービスの送迎時に、必要に応じて学校での児童の様子を伝え連携を図る。		
		対象児童は、生活能力の向上や小集団における社会性の育成を図るために、放課後等デイサービスを週 3 日程度利用している。放課後等デイサービスでの対象児童の様子は、連絡ノートを通じて、放課後等デイサービスと保護者、学校間で共有している。また、放課後等デイサービスの送迎時に、必要に応じて学校での児童の様子を支援員に伝え、連携を図るようにしている。 夏季休業中には、放課後等デイサービスの施設を見学し、1 学期及び夏季休業中の対象児童の様子についての情報交換を行い、今後の支援の在り方についての共通理解を図った。 その結果、校内外における対象児童の実態を把握したり、その日の様子の共通理解を図ったりすることができ、学校での合理的配慮の提供や支援にも役立てることができている。
【放課後等デイサービスとの連絡帳】		

場 面	生活面	休憩する場所の設置
合理的配慮の内容 ・ 疲れたときに休憩することができる場所を設置する。		
		対象児童は、体育の授業や休み時間の後に疲れを訴えることが多く、次の時間の活動に支障が出るがあった。 そこで、特別支援学級内にマットと仕切りを設置し、疲れたときに休憩することができるようにした。休憩するときには特別支援学級担任に申し出て、休憩場所を使用するようにした。 その結果、疲れても体を休めることができ、休み時間と授業の切り替えができるようになってきた。また、休憩スペースは特別支援学級の誰もが利用できるようにし、互いの様子を見ながら譲り合って使うこともできるようになった。
【疲れた時の休憩スペース】		

場 面	生活面	着替える場所の設置
合理的配慮の内容 ・ 体育の授業等で着替えるための場所を設置する。		
		対象児童は、手先の不器用さから着替えに長い時間を要したり、大人数の場所では着替えに集中することが難しかったりして、一部支援が必要なことがあった。また、着替える際に服を裏返しに着たり、着脱後の整理整頓が難しかったりする様子が見られた。 そこで、特別支援学級内の対象児童のスペースの横に、ついたてを利用した更衣場所を設けた。また、着替えるときは、必要に応じて支援を求められるように、ついたての側で特別支援学級担任や支援員が見守ることにした。さらに、着脱後に身だしなみを整えることや、脱いだ服を整理整頓すること等についてチェック表を用意し、不十分なときには、特別支援学級担任や支援員が言葉を掛けるようにした。 その結果、対象児童は自らついたての中に入り、落ち着いて着替えることができるようになった。まだ着替えに時間を要することがあるが、ボタン留めや手順の理解が難しい場合には、自分から支援を求めるようになった。また、身だしなみや整理整頓について言葉を掛けられたときには、やり直すことができるようになってきた。
【ついたてを利用した更衣場所】		
		
【対象児童の着替えを見守っている様子】		

C(見直し)**見直し****検 討**

【時 期】 6月下旬

【参加者】 現特別支援学級担任、後任の特別支援学級担任、交流学級担任

【内 容】 提供した合理的配慮の成果と課題について、対象生徒の学習や生活場面の様子を振り返り、2学期に行う合理的配慮の内容について話し合った。また、年度途中で特別支援学級担任が交代するため、後任の担任への引継ぎ事項を確認した。

【準備した資料】

- ・ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画
- ・ [合理的配慮シート](#)

成果と課題

○成果 ●課題

- 生活単元学習や国語科等で、体験したことを振り返る学習をし、活動内容やそのときの感想を話したり文章にしたりすることで、生活場面でも自分の気持ちや考えを言葉で表現しようとする様子が見られた。
- 手指の巧緻性を高める学習場面を設定したり、手先の不器用さを補う教具を用意したりしたことで、リコーダーの演奏やはさみを使った工作などの活動に意欲的に取り組むことができるようになった。手伝ってほしいときは意思表示をするようになった。
- 事前に活動内容や流れを示したことで、行事や交流学級での活動に見通しをもって参加できるようになった。また、興味のある活動を取り入れたり、役割をもたせたりすることで、交流学級の友達と一緒に活動できるようになった。
- 排泄の習慣が身に付くように言葉掛けをしたが、自ら排泄のサインを出すことが難しいため、定時排泄を図るための手立てが必要である。
- 休み時間から学習時間への切り替えが難しく、始業に遅れることがあった。そのため、次の学習の見通しを伝える支援の継続が必要である。

合理的配慮の変更点

これまでの合理的配慮は今後も継続する。以下の点についても今後取り組んでいきたい。

- ・ 学校生活の1日の流れの中に排泄の時間を定期的に設ける。
- ・ 特別支援学校のセンター的役割を利用する。

合意形成

【時 期】 6月下旬

【参加者】 保護者、現特別支援学級担任、後任の特別支援学級担任

【内 容】 現担任より保護者へ、1学期の活動の様子や合理的配慮の成果と課題について伝え、後任の担任への引継ぎ事項を説明した。その後、2学期に行う合理的配慮の内容について確認した。

【準備する資料】

- ・ 個別の教育支援計画及び個別の指導計画
- ・ [合理的配慮シート](#)

A(引継ぎ)

引継ぎ

【時 期】 3月 修了式後

【参加者】 後任の特別支援学級担任、交流学級担任、特別支援教育コーディネーター

【方 法】 個別の教育支援計画及び個別の指導計画を基に、下記の引継ぎ内容について話し合いをする。

【内 容】 定期的に見直してきた以下の合理的配慮を引継ぎ内容とした。

- ・自分の思いや考えを表現することができるような学習場面を設定する。
- ・着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。
- ・手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。
- ・交流及び共同学習や学校行事等において、対象児童が主体的に活動できるように、教職員、保護者への共通理解を図る。
- ・特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設置する。
- ・学校生活の1日の流れの中に排泄の時間を定期的に設ける。
- ・特別支援学校のセンター的役割を利用する。

【準備する資料】

- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画
- ・合理的配慮シート

【時 期】 4月 始業式前

【参加者】 保護者、(旧・新)特別支援学級担任、(旧・新)交流学級担任、特別支援教育コーディネーター

【方 法】 前年度末の支援会議で話し合った引継ぎ内容について、個別の教育支援計画を基に確認する。全職員には、4月の職員会議で、対象児童についての説明を行い、共通理解を図る。

【準備する資料】

- ・個別の教育支援計画及び個別の指導計画
- ・合理的配慮シート

成果と課題

成 果

○自分の思いや考えを表現することができるようになるための合理的配慮の提供

対象児童は、自分の思いや考えを適切に表現することが苦手であり、そのために友達と上手く関われない様子が見られた。そこで、生活単元学習や国語科等で、体験したことや思ったことを振り返ったり表現したりする学習場面を設定した。その結果、友達との関わりの中で、自分の気持ちや考えを適切な言葉で表現する様子が見られるようになった。

○着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための合理的配慮の提供

対象児童は、1年生から生活単元学習や日常生活の指導等、各教科等を合わせた指導を中心とした学習に取り組んでいる。対象児童は、家庭では洗顔や洗髪などを家族の手助けを受けて行っていた。そこで、宿泊自然教室に合わせて、洗顔や洗髪等の仕方を学習内容として設定した。学習したことを実際に体験し、振り返りを行うことができた。その結果、実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習への意欲や自信につなげることができたと考える。

○現特別支援学級担任と後任の特別支援学級担任の継続した合理的配慮の提供

1学期の途中で担任が交代したため、現担任と後任の担任、交流学級の担任で対象児童についての支援会議を設け、1学期の合理的配慮についての評価や見直しと2学期以降の合理的配慮について話し合った。そして、後任の担任が引継いだ合理的配慮の内容について保護者に提案し、合意形成を行った。2学期以降も、後任の担任は交流学級担任と連携し、対象児童の合理的配慮について定期的に評価や見直しを行った。

課 題

○実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習に取り組んでいるが、定時排泄に課題が残った。今後も本人の意思を尊重しながら、児童の実態に応じた合理的配慮について適宜、見直しをしていく必要があると考える。また、その際は、保護者や交流学級担任、外部機関等と連携し共通理解を図ることも必要であるとする。

○来年度は6年生になるため、対象児童の進学希望先である特別支援学校との情報交換等を行っていく必要があると考える。また、進学後は個別の教育支援計画や個別の指導計画を基に、小学校で行ってきた合理的配慮についての引継ぎを行う必要があると考える。

平成 30 年度 個別の教育支援計画

記入者名：〇〇 〇〇 記入日：平成 30 年 5 月〇日

〇〇小学校 〇〇学級（5年 〇組）		校長名	〇〇 〇〇	担任名	〇〇 〇〇
ふりがな 氏名 〇〇 〇〇 （男・女）		生年月日	平成〇年〇月〇日		
保護者名 〇〇 〇〇		家族構成	〇 〇 〇 〇		
住所：〒 〇〇〇-〇〇〇〇 〇〇市〇〇町〇〇 TEL（ 〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇 ） 緊急連絡先（ - - ）					
現在の生活、将来の生活についての願い					
本人の願い		・友達や先生と楽しく過ごしたい。		保護者の願い	・交流学級で過ごす時間を増やしてほしい。 ・着替えや排泄等が一人でできるようになってほしい。
本人の状況（学習面、集団参加・社会性、対人関係・コミュニケーション、他）					
学校		- 平仮名の読み書き、2年生までの漢字はおおむね読むことができる。 - 手先を使った作業（はさみの使用やリコーダー等）が苦手で、字形が整いにくい。 - 交流学級での学習では、担任や支援員の補助が必要な場面がある。 - 友達や教師と一緒に学習に取り組むことができるが、注意の持続が難しいため、活動を最後まで継続することができないときがある。 - 休み時間から学習時間への切り替えが難しいことがある。 - 着替えや排泄などの身辺処理で一部支援が必要である。			
家庭		・体や髪を洗うときに一部支援が必要である。			
地域・関係機関		- 放課後等デイサービスを利用している。 - ダウン症候群の診断を受けている。			
支援の目標		- 自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。 - 実生活に生かすことができる基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。			
主な支援内容 ※下線は合理的配慮の内容				支援者	
学 校	学級	<u>自分の思いや考えを言葉で表現することができるような学習場面を設定する。</u> <u>着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。</u> <u>手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。</u> <u>休憩する場所と着替えをする場所をそれぞれ設置する。</u>		- 特別支援学級担任 - 交流学級担任	
	校内	<u>学校行事などでは、友達と一緒に活動できるように関係職員と情報を共有しておく。</u> - 全職員で児童についての共通理解を図る。		全教職員	
家庭		・連絡帳を利用して、毎日家庭での様子を知らせる。		・保護者	
地域					
関係機関 医療、福祉、各特別支援学校等		- 放課後等デイサービスで、生活能力の向上等を図る。 - 定期的に診察し、専門的な指導や助言を行う。 - 特別支援学校のセンター的役割として、必要な支援を提案する。		- 担当職員 〇〇病院 主治医 - 職員	
評価及び 引継ぎ事項					

【合理的配慮シート】

〇〇 小学校 5 年 〇組 氏名 〇〇 〇〇

長 期 目 標
・自分の思いや考えを言葉で伝えることができる。 ・実生活に生かすことができる基礎的・基本的な知識や技能を身に付ける。

提供する合理的配慮	評価(6月〇日)
・自分の思いや考えを表現することができるような学習場面を設定する。	継続
・着替えや洗顔、排泄等の実生活に必要な基礎的・基本的な知識や技能を身に付けるための学習内容を設定する。	継続
・手指の巧緻性を高める学習場面を設定する。	継続
・交流及び共同学習や学校行事等において、対象児童が主体的に活動できるように、教職員、保護者への共通理解を図る。	継続
・特別支援学級に休憩する場所と着替える場所をそれぞれ設定する。	継続
・学校生活の1日の流れの中に排泄の時間を定期的に設ける。	追加
・特別支援学校のセンター的役割を利用する。	追加

【提供する合理的配慮を決定した日】

H30 年 5 月 〇日 児童生徒名 〇〇 〇〇 保護者名 〇〇 〇〇

担任名 〇〇 〇〇 学校長名 〇〇 〇〇

次回検討予定日 H30 年 6 月